令和元年 12 月 9 日

令和元年第３回神奈川県議会定例会

防災警察常任委員会報告資料

くらし安全防災局・警察本部

目　　次

Ⅰ　「神奈川県人口ビジョン　改訂（素案）」及び「第２期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）」について…… 1
Ⅱ　気候変動問題への対応について……14

参考資料１　神奈川県人口ビジョン（素案）
参考資料２　第２期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）

Ⅰ　「神奈川県人口ビジョン　改訂（素案）」及び「第２期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）」について

１　経緯

県では「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、2015年度に「神奈川県人口ビジョン」（以下「人口ビジョン」という。）及び「神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下「第１期総合戦略」という。）を策定し、克服すべき２つの課題として「人口減少に歯止めをかける」ことと「超高齢社会を乗り越える」ことを挙げ、2015年度から2019年度までの５か年を計画期間として、地方創生の取組みを進めてきた。

第１期総合戦略の最終年度に当たる今年度は、2015年度から４年間の取組みの進捗状況について、神奈川県地方創生推進会議で議論した。その結果、今後の取組みについて、これまでに根付いた課題認識や取組みをしっかり継続しつつ、新たな時代の変化に対応し、その流れを力に変えて、取組みを進める必要があるとの評価を受けた。

また、国は、年内に長期ビジョン（県の「人口ビジョン」に相当）の見直し及び第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定を行うこととし、地方に対しても、年度内に人口ビジョンの改訂及び第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定を求めている。

２　「人口ビジョン」の改訂

現在の人口等の見通しが策定時の推計と大きく乖離していないことから克服すべき２つの課題と３つのビジョンは継続することとし、基本的に策定時の推計方法を踏襲し、最新の数値等を踏まえた修正を行う。

また、人口動向分析の「雇用・就労分析」の中に「通勤時間に関する状況」、将来人口分析に「平均寿命と健康寿命」の項目を追加する。

（参考）

克服すべき２つの課題

①人口減少に歯止めをかける

②超高齢社会を乗り越える

３つのビジョン

①合計特殊出生率の向上（自然増に向けた対策）

②マグネット力の向上（社会増に向けた対策）

③未病の取組みによる健康長寿社会の実現（超高齢社会への対応）

３　「第２期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定

新たな時代に対応しつつ、切れ目なく地方創生の取組みを進めていくため、2020年度から2024年度を計画期間とする第２期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「第２期総合戦略」という。）を策定する。

策定に当たり、４つの基本目標の枠組みを維持し、これまでに根付いた課題認識や取組みを継続するほか、「かながわグランドデザイン　第３期実施計画」に位置付けたＳＤＧｓの推進、未来社会創造、コミュニティの再生・活性化など新しい時代の流れに応じた考え方や施策を反映する。

＜主な変更点＞

○　基本目標の変更（＊下線部を追加）

１　県内にしごとをつくり安心して働けるようにするとともに、<u>これを支える人材を育て活かす</u>

２　<u>国内外から</u>神奈川への新しいひとの流れをつくる

３　若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

４　活力と魅力あふれるまちづくり・<u>誰もが活躍できる地域社会づくりを進める</u>

４　今後の予定

令和元年12月	県民意見募集を実施
令和２年１月	神奈川県地方創生推進会議で「人口ビジョン　改訂（案）」及び「第２期総合戦略（案）」を審議
２月	第１回県議会定例会に「人口ビジョン　改訂（案）」及び「第２期総合戦略（案）」を報告
３月	「人口ビジョン」の改訂及び「第２期総合戦略」の策定

別紙１

「神奈川県人口ビジョン　改訂（素案）」＜別添参考資料１参照＞

これまでの人口動向等を分析するとともに、克服すべき課題とその解決に向けたビジョン等を将来展望として広く共有するために策定するものであり、総合戦略において効果的な施策を企画立案する上での基礎資料となる。

改訂に当たっては、克服すべき２つの課題と３つのビジョンは維持した上で、人口動向分析など最新の数値を反映する。

１　構成

○第１章　人口分析

１　人口動向分析

(1)　長期的な人口の動向分析　　(2)　出生動向分析

(3)　人口移動分析　　(4)　雇用・就労分析

２　将来人口分析

(1)　人口減少社会と超高齢社会

(2)　人口減少及び人口構成の変化がもたらす影響

○第２章　将来展望

１　克服すべき２つの課題

２　３つのビジョン

３　人口の将来展望

(1)　人口の推移と将来展望

(2)　地域政策圏別人口の将来展望

２　概要

(1)　人口動向分析

- 県の合計特殊出生率は、全国を0.1ポイント程度下回る傾向が続いており、2018年は1.33。
- 県は、東京都に対しては年間7,000人程度の転出超過となっている。
- ５つの地域政策圏のうち、三浦半島地域と県西地域は引き続き転出超過。
- 「雇用・就労分析」の中に「通勤時間に関する状況」を新たに追加。

(2)　将来人口分析

- 自然減が大きくなることが見込まれる一方で、社会増は近年、年間１～２万人程度で推移しており、今後、数十年間の人口減少は避けられない。

・　高齢化率は、2015年の23.9%から、2065年には34.8%となることが見込まれている。
・　「平均寿命と健康寿命」の項目を新たに追加。

(3)　克服すべき２つの課題

・　将来にわたって、活力ある、いのち輝く神奈川を維持していくためには、人口減少問題の克服に向けた取組みを進める必要がある。
・　一方、神奈川は全国屈指のスピードで高齢化が進むとともに少子化も進行している。
・　そこで、「人口減少に歯止めをかける」ことと、「超高齢社会を乗り越える」ことの２つの課題を同時に克服していかなければならない。

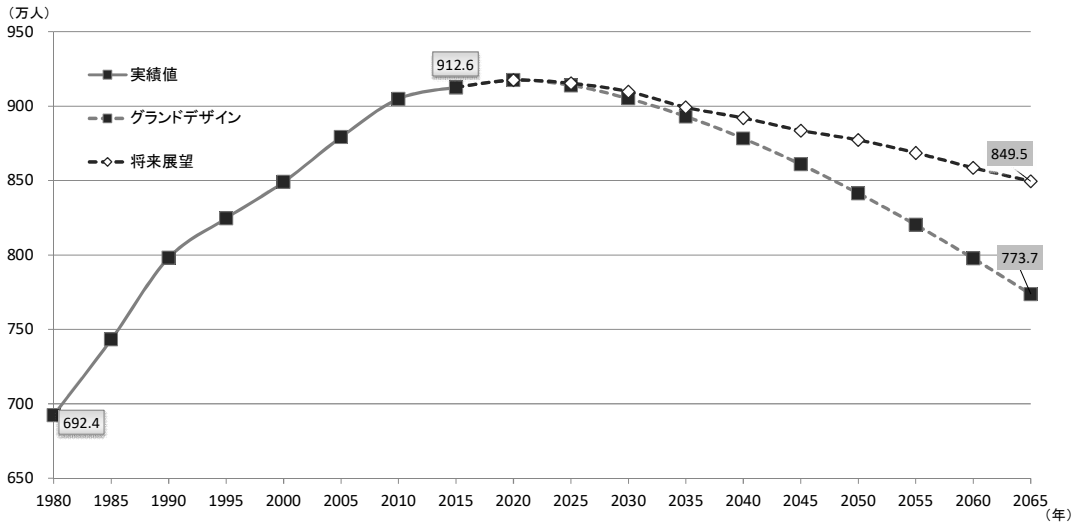
(4)　３つのビジョン

克服すべき２つの課題の解決に向け、次の３つのビジョンを将来展望として整理。

・　ビジョン１　「合計特殊出生率」の向上（自然増に向けた対策）
・　ビジョン２　「マグネット力」の向上（社会増に向けた対策）
・　ビジョン３　「未病」の取組みによる健康長寿社会の実現（超高齢社会への対応）

(5)　人口の将来展望

・　ビジョンが実現した場合の将来人口についてシミュレーションを行ったところ、かながわグランドデザインにおいて県が行った2065年時点の推計773.7万人を上回り、849.5万人になると推計された。



別紙２

第２期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）<別添参考資料2参照>

人口ビジョンで示した「克服すべき２つの課題」と「３つのビジョン」を受け、人口減少と超高齢社会を力強く乗り越えていくため、2020 年度から 2024 年度までの５年間に取り組む施策等を示すもの。

１　構成

○第１章　基本的考え方
　１　総合戦略の位置付け
　２　本県の地方創生の取組みとＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）
○第２章　基本目標
　基本目標１　県内にしごとをつくり安心して働けるようにするとともに、これを支える人材を育て活かす
　基本目標２　国内外から神奈川への新しいひとの流れをつくる
　基本目標３　若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
　基本目標４　活力と魅力あふれるまちづくり・誰もが活躍できる地域社会づくりを進める
○第３章　具体的な施策
○第４章　推進体制など

２　概要

(1)　基本的考え方

ア　総合戦略の位置付け

第２期総合戦略は、人口ビジョンで掲げる３つのビジョンの実現を積極的に進めていくため、「かながわグランドデザイン　第３期実施計画」から「人口問題」の観点で施策を抽出し、2020 年度から 2024 年度の５年間の目標や施策の基本的方向を整理したもの。

イ　本県の地方創生の取組みとＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）

県の地方創生の取組みは、かながわグランドデザインと同様に、ＳＤＧｓの理念と軌を一にするものである。地方創生の取組みを進め、「いのち輝くマグネット神奈川」の実現をめざすことで、ＳＤＧｓの目標である世界がめざす持続可能な社会の実現にも貢献していく。

(2)　基本目標

基本目標１　県内にしごとをつくり安心して働けるようにするとともに、これを支える人材を育て活かす

神奈川の成長力を生かした神奈川らしい成長産業の創出などを通じて、経済のエンジンを回すことにより、県内にしごとをつくり、安定した雇用を生み出すことをめざす。また、地方創生の基盤をなす人材の掘り起こしや育成、活躍に向けた取組みを進める。

＜数値目標＞

■ 企業立地支援件数（累計）
■ 開廃業率の差（開業率から廃業率を引いた差）
■ 企業経営の未病が改善した企業の割合（「未病 CHECK シート」をもとに、支援機関に相談した企業のうち、改善した企業の割合）
■ 完全失業率（暦年）

基本目標２　国内外から神奈川への新しいひとの流れをつくる

観光の振興、地域資源を活用したプロジェクトを推進することで、神奈川のマグネット力を高め、国内外からヒト・モノ・カネを引きつける。また、関係人口に着目し、来訪した人と地域の人との多様な交流機会を創出することで、各地域のマグネット力を高め、地域活性化を図り、移住・定住人口の増加につなげる。

＜数値目標＞

■ 観光消費額総額（暦年）
■ 入込観光客数（暦年）
■ 県西地域の社会増減数（暦年）
■ 三浦半島地域の社会増減数（暦年）
■ 人口が転出超過の市町村数（暦年）

基本目標３　若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

「子どもを生むなら神奈川　子育てするなら神奈川」の実現をめざし、結婚から育児までの切れ目ない支援や女性の活躍支援、長時間労働の是正や通勤時間の短縮につながる働き方の導入支援などを通じて、安心して結婚、出産、子育てができる環境を整えるとともに、妊娠・出産などに関する知識の普及やライフキャリア教育を進め、若い世代の希望の実現を図る。

＜数値目標＞

■ 希望出生率の実現（暦年）

■ 保育所等利用待機児童数
■ 25～44 歳の女性の就業率（暦年）
■ １人当たり月所定外労働時間（事業所規模 30 人以上）（暦年）
■ 「安心して子どもを生み育てられる環境が整っていること」に関する県民ニーズ調査の満足度

基本目標４　活力と魅力あふれるまちづくり・誰もが活躍できる地域社会づくりを進める

既に超高齢社会が到来している中で、未病改善の取組みなどを通じて健康長寿のまちづくりを進め、超高齢社会を乗り越える社会システムを創っていく。

また、今後見込まれる人口減少の局面に対応できるよう、女性、高齢者、障がい者、外国人など誰もが居場所と役割を持ち活躍できる地域社会づくりや、「コンパクト＋ネットワーク」の都市づくりの観点に立った持続可能な魅力あるまちづくりを進めるなど、活力と魅力あふれるまちづくりの実現をめざす。

＜数値目標＞

■ 平均自立期間（日常生活動作が自立している期間の平均）（暦年）
■ 長い人生を充実させるため、コミュニティなど、地域社会との関わりを大切にしている人の割合（県民ニーズ調査）
■ 「通勤・通学・買い物など日常生活のための交通の便がよいこと」に関する県民ニーズ調査の満足度
■ 県民ニーズ調査における「神奈川県に住み続けたい」と思う人の割合

別紙３

第２期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）　具体的な施策

基本目標１　県内にしごとをつくり安心して働けるようにするとともに、これを支える人材を育て活かす

(1)　成長産業の創出・育成、産業の集積

①　未病産業、最先端医療関連産業の創出・育成【政策】

- 未病産業の創出・育成
- 最先端医療関連産業の創出・育成

②　ロボット関連産業の創出・育成【政策、福祉子どもみらい、産業労働】

- ロボットの実用化の促進
- ロボットの普及・定着の促進
- 「ロボットと共生する社会」の実現に向けた取組み

③　エネルギー関連産業の振興【産業労働】

- エネルギー自立型の住宅・ビル・街の形成に取り組む企業への支援

④　産業集積の促進【政策、産業労働、県土整備】

- 成長性の高いベンチャー企業の創出・育成
- ３つの特区などを活用した成長産業関連企業の立地促進
- 工場立地のための土地利用に係る規制緩和の検討
- 成長分野において地域の特性を生かして高い付加価値を創出する地域経済牽引事業の促進・支援

(2)　産業の活性化

①　県内中小企業・小規模企業の活性化【産業労働】

- 中小企業の経営革新の促進
- 中小企業の必要とする人材とのマッチング
- 中小企業の事業承継支援
- 中小企業・小規模企業の創業や第二創業の促進
- 経営基盤強化や経営安定化、労働生産性の向上などへの支援を行う総合的な中小企業支援体制の整備
- 中小企業の海外展開支援

②　農林水産業の活性化【環境農政】

- 地産地消の推進

(3)　就業の促進と人材育成

①　就業支援の充実【産業労働】

- 中高年齢者、女性、若年者の就業支援
- 障がい者の雇用促進
- 安心して働ける労働環境の整備

② **産業を支える人材育成**【環境農政、産業労働、教育】

- 生徒の個性や能力を伸ばす質の高い県立高校の教育の充実と魅力ある学校づくり
- 中小企業等を支える専門技術者の育成
- グローバル人材の育成
- 農林水産業の新たな担い手の育成・確保の推進

③ **外国人材の育成・活躍支援**【福祉子どもみらい、健康医療、産業労働】

- 外国人材の育成
- 外国人材の活躍支援

基本目標２　国内外から神奈川への新しいひとの流れをつくる

(1)　観光の振興

① **観光資源の発掘・磨き上げ**【国際文化観光】

- 魅力ある観光地の形成
- 観光消費につながるコンテンツづくり
- 多様なテーマに沿って県内の周遊を促すツーリズムの推進

② **戦略的プロモーションの推進**【国際文化観光】

- 観光消費を高めるプロモーションの推進
- 多様な関係者と連携したプロモーションの推進

③ **受入環境の整備**【国際文化観光】

- 観光客の受入環境整備
- 観光客を迎えるおもてなしの向上

(2)　地域資源を活用した魅力づくり

① **県西地域活性化プロジェクトの推進**【政策、環境農政、健康医療】

- 「未病を改善する」取組みの推進
- 県西地域の自然環境などを生かした観光の振興

② **三浦半島魅力最大化プロジェクトの推進**【政策、県土整備】

- 三浦半島の観光の魅力を高める取組みの推進
- 「半島で暮らす」魅力を高める取組みの推進

③ **かながわシープロジェクトの推進**【政策】

- 海からしか見ることができない景観を観光コンテンツとした海洋ツーリズムの展開
- 神奈川の海の魅力をパッケージで発信する「Ｆｅｅｌ　ＳＨＯＮＡＮ」キャンペーンの展開

④ **マグカルの推進**【国際文化観光】

- 地域の文化資源を生かしたマグカルの推進

⑤ **地域のマグネットとなる魅力づくり**【政策、環境農政、産業労働】

- ダム湖と周囲の自然環境を生かした水源地域の活性化
- まちの賑わいを創出する商店街の振興

(3)　移住・定住の促進

①　関係人口の創出を通じた移住・定住の促進【政策】

- 地域の魅力を生かした移住の促進
- くらしとしごとの相談・支援
- 「関係人口」の創出

基本目標３　若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

(1)　結婚から育児までの切れ目ない支援

①　若い世代の経済的安定と結婚の希望をかなえる環境づくり

【福祉子どもみらい、産業労働】

- ライフキャリア教育の促進
- 若者の就業支援
- 困難を有する青少年の相談・支援の充実
- 結婚に向けた機運の醸成

②　妊娠・出産を支える社会環境の整備【福祉子どもみらい、健康医療】

- 母子保健の推進
- 思春期から妊娠適齢期の男女を対象とした健康相談や健康教育
- 産科医の確保・育成
- 不妊治療に対する支援
- 周産期救急医療体制の整備・充実

③　子育てを応援する社会の実現【福祉子どもみらい、健康医療、県土整備、教育】

（子ども・子育てを支える社会環境の整備）

- 社会全体で多様な子育てを応援する環境づくり
- 保育環境の整備
- 保育人材の確保・育成やニーズに応じた幼児期の教育・保育の提供
- 放課後児童クラブをはじめとした子どもの放課後などにおける育ちの場の整備
- 子育て世代に対する総合的な支援
- 多世代居住のまちづくりの推進
- 小児救急医療体制の整備・充実

（支援を必要とする子ども・家庭への対応）

- 貧困の状況にある子どもへの支援
- 高校生などへの就学支援の充実
- 多子世帯への支援

(2)　女性の活躍支援と男女共同参画の推進

①　女性の活躍支援と男女共同参画の推進【福祉子どもみらい、産業労働】

- 男女の役割分担意識の改革や意識啓発に向けた取組みの推進
- 女性の活躍の推進
- 女性登用の促進

(3)　働き方の改革

①　多様な働き方ができる環境づくり【福祉子どもみらい、産業労働】

- 働き方改革の推進に向けた企業へのワーク・ライフ・バランスの普及啓発・支援
- 企業へのテレワークの導入推進
- 男性が育児参加できる環境づくり
- 子ども・子育てを支援する企業の認証
- がん患者の就労支援

基本目標４　活力と魅力あふれるまちづくり・誰もが活躍できる地域社会づくりを進める

(1)　健康長寿のまちづくり

①　未病を改善する環境づくり

【政策、スポーツ、福祉子どもみらい、健康医療、産業労働、県土整備、教育】

（ライフステージに応じた未病対策）

- 子どもの未病を改善する基礎づくり
- 女性の未病対策
- こころの健康づくりの推進など働く世代への未病対策
- コグニサイズの展開など高齢者への未病対策

（未病改善を支える社会環境づくり）

- 未病センターや県立都市公園など身近な場所で未病を改善する場の提供や環境づくり
- 未病バレー「ビオトピア」を活用した未病の総合的な普及啓発
- ヘルスケア分野における社会システムの変革を起こす人材の育成

（健康情報の活用による効果的な施策の推進）

- 健康情報の活用による未病改善の推進
- 未病改善に向けた未病指標の構築・活用促進

②　高齢になっても活躍できる社会づくり

【政策、福祉子どもみらい、健康医療、産業労働、県土整備】

（地域包括ケアシステムの推進）

- 地域包括ケアシステムの推進
- 介護人材の定着・確保と介護保険施設の計画的整備の促進
- 福祉サービスを安心して利用することができるしくみづくり

- 地域のニーズに対応した医療体制の整備・充実
- サービス付き高齢者向け住宅の供給促進など高齢者をとりまく居住環境の安定確保
- 健康団地の取組みの推進

（認知症の人にやさしい地域づくり）

- 認知症の人や家族などに対する総合的な支援

（健康・生きがいづくり）

- 高齢者の健康・生きがいづくりの推進
- 「人生100歳時代」におけるライフデザイン支援
- シニア世代の就業や起業の支援
- 福祉コミュニティづくりを担う人材の育成・定着
- 「エイジフレンドリーシティ」の推進

③　誰もが生涯にわたりスポーツに親しめる社会の実現【スポーツ】

- 誰もが生涯を通じて楽しめるスポーツ活動の推進
- スポーツ活動を拡げる環境づくりの推進
- 大規模なスポーツイベントを盛り上げ、レガシーを創出・継承する取組み

⑵　誰もが活躍できる地域社会の実現

①　障がい者が活躍できる地域社会づくり【福祉子どもみらい、産業労働】

- 障がい者の社会参加の促進、障がい及び障がい児・者に対する理解促進

②　外国人が活躍できる地域社会づくり

【国際文化観光、福祉子どもみらい、健康医療、産業労働、教育】

- 多文化理解の推進
- 外国籍県民等も安心してくらせる地域社会づくり
- 外国人が活躍できる環境づくり
- 外国人材の育成　※再掲
- 外国人材の活躍支援　※再掲

③　支え合いによる地域社会づくり

【政策、<u>くらし安全防災</u>、福祉子どもみらい、県土整備、教育、警察本部】

- <u>自助・共助の取組みの促進</u>
- バリアフリーのまちづくりの推進
- 地域の活性化や課題解決に取り組む人材の育成
- コミュニティ・スクールの導入・運営による地域の新たなコミュニティの核となる学校づくり
- ＳＤＧｓの「自分事化」と地域コミュニティ活性化の推進

⑶　持続可能な魅力あるまちづくり

①　次世代につなぐ活力と魅力あふれるまちづくりの推進

【総務、環境農政、県土整備】

- 空き家の利活用の推進
- 地域の実情に応じた都市機能の集約化などの推進
- 県有地・県有施設の有効活用
- 歴史的建造物の保全・活用
- 都市拠点の整備と環境と共生するまちづくり
- 廃棄物ゼロ社会づくり

② 交流と連携を支える交通ネットワークの充実【県土整備】

- 交流幹線道路網の整備
- 道路網の有効活用
- 鉄道網の整備促進
- 路線バスなどの公共交通の充実・確保

Ⅱ　気候変動問題への対応について

近年、記録的な暴風、高波、高潮等をもたらす台風等により、甚大な被害が発生している。また、地球温暖化などの気候変動の影響により、降雨量の増加や海面上昇など、自然災害の頻発化・激甚化が懸念されるなど、まさに気候の非常事態に直面している。ＳＤＧｓの目指す持続可能な社会を実現するためには、気候変動問題への対応は不可避である。

そこで、「誰一人取り残さない」というＳＤＧｓの理念を踏まえ、「県民のいのちを守る持続可能な神奈川」の実現に向け、気候変動問題への対応を進める。

１　方向性

ＳＤＧｓ最先進県として、気候変動問題により、今後想定される事態に備えるとともに、危機感を県民、市町村、企業、団体等と共有し、多くの主体が「自分事」として捉え、行動できるよう、連携した取組みを進める。

２　基本的な対策の柱（案）

多様な主体と連携し、多角的な対応を進める。

(1)　今のいのちを守る取組み

気候変動による災害から今のいのちを守るため、災害復旧や今後への備え、被害を最小限に抑えるための取組み等風水害対策の強化を進める。

（取組みの例）

- 災害時の情報収集・提供体制の充実
- 災害時広域応援体制の強化
- 災害時即応体制の強化
- 地域の消防力の強化
- 災害救援ボランティア活動や県民の防災活動への支援
- 帰宅困難者対策や避難対策などの推進
- 社会的弱者への対応
- 自然災害による被害を最小限にするための計画的なインフラ整備
- 緊急的な災害復旧　など

(2)　未来のいのちを守る取組み～2050年の「脱炭素社会」に向けて～

「今のいのちを守る取組み」とともに、気候変動の要因となる地球温暖化を食い止めるため、温室効果ガス削減等の取組みを進める。

（取組みの例）

- 再生可能エネルギーの利用拡大やイノベーションによる「温室効果ガス」の削減
- 家庭や事業者における省エネルギー対策の促進　など

(3)　気候変動問題の共有（情報提供、意識啓発）

気候変動とその影響に関する問題について、県民、市町村、企業、団体等への情報提供や意識啓発を多様なアプローチにより進める。

（取組みの例）

- 現状と今後想定される事態について、県民、市町村、企業、団体等と共有
- 気候変動問題を自分事として考えるライフスタイルづくり
- 気候変動適応センターによる情報の収集、提供等
- 学校におけるＥＳＤの取組みを通した気候変動への理解促進 など

３　今後の予定

県民、市町村、企業、団体等と、気候が非常事態にあるという「危機感」を共有し、共に行動していくという県の姿勢を明確に示すとともに、速やかに対応可能なものから順次取り組む。